

おかちまち
たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第7号

令和5年11月8日(水)

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ



<https://www.taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320111>

↑ 更新中

令和5年度 文化祭を終えて

校長 福沢 俊之

10月29日(土)、文化祭を無事終えることができました。多くのご来賓、保護者のみなさまにお越しいただき、生徒たちも励みになったことと思います。ありがとうございました。

感染症の流行で、中止となった令和2年度、合唱コンクールの代替として学級を紹介する動画を発表した令和3年度、そして3年ぶりに合唱コンクールを実施した昨年度、本校の文化祭もその形を少しずつ元に戻してきました。そして今年度、4年ぶりに全校生徒が一堂に会しての開催となりました。

この3年間、特に日常生活への制限が求められていた時には、「文化」のもつ意味を考えることがありました。文化祭の「文化」という言葉は、「学問、芸術、宗教、道徳のように自由な心の活動から生み出されたもの」を指す場合と「いろいろな人間の集団がそれぞれもっている生活様式」を指す場合があるといえます。いずれにしても人間は、経験したり、真似をしたり、言葉を使って伝え聞いたりして、自分のものにしたことを、同じ世代や後の世代の人々に伝えながら、「文化」を継承しているのではないかと思います。

では、御徒町台東中学校の文化とは何か、と考えたとき、まずは「礼儀」「あいさつ」「みだしなみ」といった基本的な生活習慣、乱れのない整然とした掲示物、そして一年を通じて生徒の作品であふれている校内など、こうした環境が本校の文化の実態を表すものであると考えます。文化祭で生徒たちは、本校の「文化」を舞台部門に、展示部門に、精一杯表現してくれました。合唱コンクールでは、コンクールの結果だけではなく、それぞれの学年や学級の特徴ある合唱そのものを楽しく鑑賞させてもらいました。1年生は2、3年生の、2年生は3年生の合唱を目標に、その背中を追って、来年度はそれを超えるような合唱を期待したいと思います。地元台東区を紹介してくれた英語スピーチも、3年生は素晴らしい目標となってくれました。演劇部の劇も画面越しではなく直接鑑賞することができました。迫力のある演技に引き込まれながら、いろいろな役をつくり演じることで他の人の何倍もの経験ができる、その楽しさも伝わってくるようでした。吹奏楽部の演奏は、厳かな曲からテンポのいい楽しい曲まで幅広く、ダンスを交えた演奏で会場の一体感は最高潮に達していました。3年連続の吹奏楽コンクール金賞の実力と音楽を楽しむ、楽しませる力を感じました。展示部門にも、個性あふれる素晴らしい作品がたくさんありました。今は、多様性を認め合う時代と言われますが、多様性を理解するには、こうした作品のよさや作成した人の思いを感じることから学ぶのがよいのではないかと思います。鑑賞しながら生徒たちは、美しいものを美しいと感じたり、迫力のあるものに圧倒されたり、高い創作技術やアイデアに驚いたり、今日の文化祭を通じて、心を動かされた場面があったと思います。そのような心を動かされる経験を通して、学んだことが生徒たちの身になっていく、それが本当の意味での学力を高めることにつながる、と思っています。

展示作品の紹介

展示部門では、各学年、教科、部活動、PTA広報部で制作した多くの作品が展示されました。作品を見ると、生徒一人一人の個性や熱意、創意工夫などが伝わってきました。また、展示に向けての準備に取り組む中で、生き生きと協力し合う姿が見られました。鑑賞した生徒も、他学年の作品を見ることで大いに刺激を受けた様子で、今後の作品制作の参考となりました。



1年書写



1年草花スケッチ



1年伝統工芸体験



2年移動教室まとめ



2年美術科作品



2年家庭科作品



3年修学旅行まとめ



3年修学旅行体験



3年美術科作品



科学部不思議な卵



美術部作品



文化交流部作品



家庭科部作品



華道部作品



PTA広報部作品